



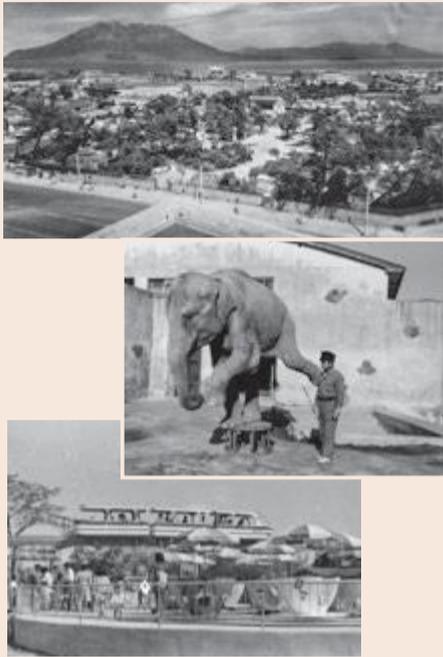
未来につなぐ
ZOOとつなぐ
50年



平川動物公園は、今月開園50周年を迎えます。多くの人に親しまれ、開園以来の入園者は約2780万人。たくさんの思い出が詰まった動物公園のこれまでの歩みを、写真とともに振り返ります。

【平川動物公園 ☎261-2326 FAX261-2328】

大正5年～



日本で4番目に開園。昭和5年に九州で初めて展示したゾウが大人気に。東京オリンピックを記念したモノレール「オリンピア号」も人気でした

平川町に開園する前は、鴨池(現・イオン鹿児島鴨池店付近)に動物園がありました。「鴨池動物園」として広く市民に親しまれ、昭和初期には遊園地や野球場、海水浴場なども備えた総合公園となりました。

実は鴨池にあった動物園

昭和47年



▲開園当時のアフリカ園。開放的な広場にキリンなどが放し飼いされる、今でも人気の展示ゾーンです

10月14日、約33万㎡の広大な動物公園が、自然豊かな平川町に開園しました。開園初日は無料開放し、動物が伸び伸びと生活できるような柵のない自然放養式を取り入れた動物公園は、多くの市民らでにぎわいました。

自然豊かな平川町に開園



同園は、県内希少種の保護や保全活動に取り組んでいます。徳之島で交通事故に遭い、負傷した個体の保護、治療などで、平成29年には「動物愛護賞」も受賞しています

野生動物の研究・繁殖などの業績に贈られる同賞を受賞。「生きた化石」ともいわれる国の特別天然記念物・アマミノクロウサギの飼育、繁殖に多数成功し、それまで知られていなかった生態などを明らかにすることが評価されました。

平成4年



「古賀賞」受賞

アマミノクロウサギ飼育などの功績で



▲空港からパトカーが先導するなどVIP待遇で迎えました

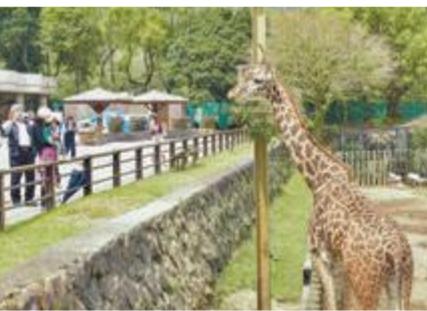


はやと、ネムネムと命名された2頭。初めての一般公開では、一目見ようと長蛇の列ができました

昭和59年

豪・クイーンズランド州から
コアラ2頭が来園

長年の誘致活動が実り、東京、名古屋の園とともに日本で初めてコアラを受け入れ、その愛くるしい姿が一躍、人気の的になりました。現在も19頭を飼育し、日本一の大家族になっています。



▶平成28年より園内バスが運行開始。現在はバリアフリー対応の「南国白くま号」も運行中。スムーズに園内を移動できます



◀昨年、コアラ館もリニューアル。運が良ければコアラの鳴き声が聞こえるかも

平成21年から7年かけリニューアルを進め、同28年4月にフルオープン。さらに間近で動物を観察したり、触れ合ったりして楽しめるようになりました。子どもにとっては楽しく遊び学べる場、大人にとっては憩いの場として親しまれてきた動物公園。これからも、動物の展示などで命や環境の大切さを伝え、思いや感動を未来につなぎ、皆さんに愛される動物公園を目指します。

平成28年

ZOOと愛される動物公園に
リニューアル工事が完了これからも



開園当初から遊園地を併設。メリーゴーラウンドや観覧車などの全ての遊具を、1回100円(のりもの券1枚)で楽しめます。いつの時代も変わらず、子どもたちの笑顔があふれるエリアです。



動物と触れ合ったあとは
遊園地も気軽に楽しめます